2026 年度　京都文教大学大学院　臨床心理学研究科
－博士前期課程－

秋期入学試験問題

英語

受験番号：	氏名：

実施日

2025 年 9 月 10 日（水）

注意事項

1. 試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 問題冊子 1 冊（問題文 3 ページ）、解答用紙 1 枚です。
3. 全てに受験番号と氏名を記入してください。
4. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせてください。
5. 解答を終えたら、問題冊子、解答用紙の順に机の上に重ね、時間の終了を待ってください。
6. 試験終了後、この問題冊子を回収します。
7. 何か疑問な点があれば静かに挙手をし、監督者の指示に従ってください。
8. 不正行為について
   ① 不正行為に対しては厳正に対処します。
   ② 不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者が注意します。
   ③ 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取り止めさせ退室させます。

第Ⅰ問　2010 年に『心理臨床学研究』に掲載された次の論文要旨を読み、以下の問いに答えなさい。

著作権の関係により、当該部分は掲載しておりません。

（出典：Hamasaki, M.＆Yamamoto, T.（2010）. The influence of grief dreams after bereavement on the mourning process - A qualitative study of responses to grief dreams - .Journal of Japanese Clinical Psychology, 28（1）,50-61.より引用）

問 1　本論文における「悲嘆夢（grief dream）」の定義は何か、日本語で答えなさい。

問 2　本論文の研究目的は何か、日本語で答えなさい。

問 3　本論文の分析対象は何か、日本語で答えなさい。

問 4　下線部ア・イの訳語を、日本語で答えなさい。

第Ⅱ問　次の文章は、プレイセラピーに関する書籍の一部です。文章を読み、以下の問いに答えなさい。

著作権の関係により、当該部分は掲載しておりません。

（出典：Garry L.Landreth.（2002）. PLAY THERAPY –The Art of the Relationship–. second edition. Brunner-Routledge. Taylor&Francis Group. NEW YORK AND HOME. pp174-175.より引用）

問１　下線部ア～エの単語を日本語に訳しなさい。

問２　下線部（1）について、日本語訳をしなさい。

問３　下線部（2）について、日本語訳をしなさい。

問４　本文で記述されている筆者の考えについて、以下の A～D の文章の正誤を○×で答え

A：子どもが気持ちを表現することは、遊び道具と同様に重要なことです。
B：プレイセラピーにおける関わりは、完全に許容された関わりです。
C：どのおもちゃで遊ぶかなど、選択できる状況は、子どもが決断する機会を作り出し、その機会は、子どもの自己責任を促します。
D：市内の学校の 2800 人の子どもたちを対象とした調査から、学業成績を最もよく予測する指標は、子どもが環境をコントロールできている感覚にあることが示されました。